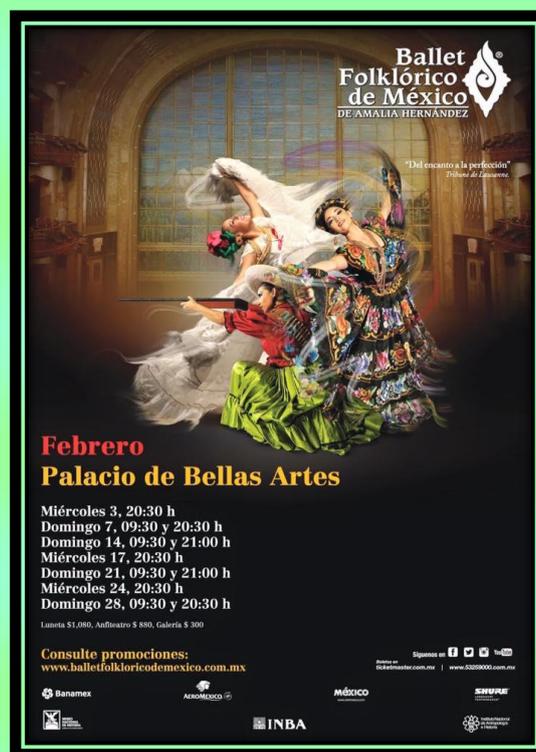


日本はそろそろ初夏を迎えゴールデンウィークを終えたころでしょうか。メキシコはもうすぐ雨期に入ります。三月の半ばごろから日本のゴールデンウィークのような真夏日が続いたかと思えば冬のようになったりして、気温差で風邪を引く人も多いようです。最近、雷を伴う夕立が増えてきました。

三宅 優美

## Danza Tradicional (ダンス・トラディショナル=伝統ダンス)

二月の半ばごろに、Bellas Artes というメキシコシティの中央にある大きな劇場で日曜日と水曜日に行われている“Balleto Folclórico de México (バジェット・folklorico・デ・メヒコ=メキシコの民族バレエ)”を見に行く機会がありました。華やかな衣装もさることながら、様々な大きさのクラシックギターを用いた音楽や、タップダンスのようにカタカタと靴を打ち鳴らしながらくるくるとスカートを翻す姿が素晴らしかったのです。もともと少し憧れていたメキシコの伝統ダンスにますます興味を持つ機会になりました。



## ☆Balleto Folclórico de México (メキシコの民族バレエ)のリーフレット☆

Balleto Folclórico de México (バジェット・folklorico・デ・メヒコ=メキシコの民族バレエ)”の鑑賞後、私の通う学校に Danza tradicional (ダンス・トラディショナル=伝統ダンス)の授業があることを思い出しました。これはチャンスだと思い、チャレンジしてみることにしました。この授業では、六週間の授業期間中、火曜日、水曜日、木曜日に各二時間ずつ練習があります。そして最後の授業日（今回は四月二十日でした）には、以前

演劇の授業でも使った GEPE（外国人のためのスペイン語学校）のホールで発表会を行いました。

メキシコでは各州全てに伝統的な衣装、ダンス、そして伝統的な音楽があります。その中で私たちは、メキシコ北部にありポルカのダンスを持つ Cuahuila(クアウィラ)州の La revolucada(ラ・レボルカーダ)、メキシコ湾に面する街でメキシコ音楽で日本にもよく知られている Veracruz(ベラクルス)州の La bamba(ラ・バンバ)、そしてメキシコ中央部にある Jalisco(ハリスコ)州の El huizache(エル・ウイサッチェ)の三曲を発表会当日まで猛特訓しました。どの曲も一つ一つの振り付けやステップがとても難しく、最後の曲はたったの三日で全部を覚えるという荒業になりました。



☆La bamba(ラ・バンバ)の衣装☆



☆La revolucada(ラ・レボルカーダ)の衣装と El huizache(エル・ウイサッチェ)の衣装☆

使う靴は少し特殊で、踵とつま先に馬のひづめのように金属がつけられています。日本舞踊やディスコでよく踊られるサルサやメレンゲと言われるダンスと違い、その部分を使用して出す音がメキシコのダンスステップにおいては大きな意味を持ちます。私にとっては、高

校を卒業して以来のスポーツである上に、普段の生活で使わない筋肉ばかりを使ったので、授業後は歩きたくないほど足がいつもくたくたになっていました。しかし、足の痛みよりもダンスの楽しさの方が上回り毎日が充実していました。

発表会では、サルサの授業の生徒たちとともに1番目、3番目、5番目に演技をしました。学校が用意している各曲にふさわしい華やかな衣装を身に着けて踊りきることが出来て私はとても誇らしく感じました。

帰国する前にはまた改めて Bellas Artes のホールで、Balleto Folclórico de México (バジェット・フォルクロリコ・デ・メヒコ=メキシコの民族バレエ)” を、前よりもっと近い席から鑑賞しに行きたいなと思います。